

## 【不祥事根絶に向けた本校の決意】

- 1 私たちは、子どもの一生にかかわる教育プロフェッショナルであるという自覚をもち、法令を遵守します。
- 2 私たちは、海田小職員チームとして、協力して子どもを守り育てます。
- 3 私たちは、開かれた学校の一員として、真摯な態度で相談に乗ります。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	研修等計画	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○個人情報保護・書類管理など、職員に規範意識の差がある。自分のこととして捉える気持ちが必要である。	○校内の実態をつかみ、自分の行動を振り返るとともに、公務員としての意識をより高くもつという意識で職務への自覚を高める研修とする。	○学期に1回、職員から課題を出し、個々の様々な体験、ヒヤリハット事例をもとに具体的な研修を行う。 ○常に机上や共通した場を整理整頓する。	全体研修 【年5回】 4月 6月 8月 12月 2月	○服務研修後、自分の行動を振り返り行動する時間を確保する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○組織全体として共通認識しながら不祥事防止に取り組む必要がある。	○互いのコミュニケーションをより深くもち、何でも言い合い、チームとして協力できるようにする。	○週に一度の生徒指導特別支援会議で情報交換し、集団でサポートする共通認識をもつ。 ○校長・教頭・生徒指導主事が校内巡回を行い、校内体制の課題をつかみ改善を図る。	不祥事防止委員会 【毎月1回】	○月に1回、不祥事防止委員会を行い、学校の課題を捉え、見直す。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の認知度を高め、充実させる必要がある。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。	○相談窓口について教室等、校内掲示をし、児童や来校者への周知を図る。担当職員を明示する。	窓口周知 【学期1回】	○4月PTA総会で周知。 ○学期初めの学校だよりで周知。